

「語りもんそ」

Vol.26 平成25年7月10日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪ カフェ ミニコンサート

出演 (公財) 鹿児島県文化振興財団
アーティストバンク登録アーティスト
宝山ホール2階 “カフェ マ・ナ～ナ

毎月1回 日曜日の午前10時30分から11時15分まで、開催されています。

(入場料は無料ですが、要ワンオーダー)

●4月14日(日)は、松元愛依さん(メゾソプラノ)と春田友里恵さん(ピアノ)のお二人で、“花”、“アヴェ・マリア”、“恋とはどんなものかしら”や、“ふるさと”など春から初夏の日本の歌曲(唱歌)メドレー。またピアノソロでは『版画』より「塔」や、“どこかで聴いたことがある!?メドレー”としてテレビ番組のオープニング曲やテレビCM曲が演奏され、最後まで大いに盛り上がったカフェミニコンサートになりました。



松元愛依さん(ソプラノ) 春田友里恵さん(ピアノ)

○お客様に感想をお聞きしました

・森永茜さん 鹿児島市
「プログラムの構成がとても良くて、楽しく聴くこ

とができました。また歌声とピアノの音色がとても良く合っていて、優雅なひと時を過ごせました」

・岩下未来さん 鹿児島市

「クラシックから最近の曲まで幅広く楽しむことができ、有意義な時間を過ごせました。曲も春らしい曲が多く季節感をとても感じることができ癒されました」



森永茜さん(左端) 岩下未来さん(右端)

●5月19日(日)は、大山瞳さん(サクソフォン)と厚地麻美さん(ピアノ)のお二人で、サクソフォンのためにJ・Mダマーズが作曲した“ヴァカンス”、チャイコフスキー作曲の“アンダンテ・カンタービレ”、“眠れる森の美女”よりワルツ”、ジブリアニメから“もののけ姫よりアシタカとサン”、“となりのトトロよりさんぽ”、東日本大震災復興支援曲“花は咲く”など10曲が演奏されました。アンコールに呼ばれ演奏された、美空ひばりさんの“愛燦燦”では口ずさむお客様も多く、雨が降る日曜日の朝でしたが、サクソフォンのうるおいと艶のある音色とピアノのアンサンブルはとても素晴らしく雨音さえ心地よい爽やかな朝になりました。



厚地麻美さん(ピアノ) 大山瞳さん(サクソフォン)

●6月23日(日)は、春花美咲さん(リコーダー)と江副麻衣子さん(ピアノ)のお二人で、“愛のうぐいす”、“ソナタ第3番ト短調”、マンドリンの曲である“チャルダッシュ”をリコーダーで演奏するなど8曲が演奏されました。演奏後満席のお客様から拍手が鳴り止まず、アンコールに“花は咲く”が演奏され梅雨空を吹き飛ばす爽やかなコンサートになりました。春花美咲さんがコンサートの中で3種類のリコーダーの特徴をユーモアを交じえながら、わかりやすく説明されました。



春花美咲さん(リコーダー) 江副麻衣子さん(ピアノ)

○お客様に感想をお聞きしました

・御領原恵子さん 日置市伊集院

「音楽好きの友人からこのミニコンサートを紹介され聴きにきました。娘の部活がない日曜日は二人でゆっくり素敵な時間を過ごさせてもらっています。今日は3種類のリコーダーの演奏でした。それぞれ違う音色で演奏され、また選曲もとても素晴らしく感動しました」

・御領原由貴さん(中2) 日置市伊集院

「間近で見られるコンサートは少ないので、演奏者との距離が近いこのコンサートは毎回楽しみにしています。楽器の特徴や曲についての解説もあるので初めての楽器や演奏曲も興味をもって聴くことができます。テナーリコーダー・アルトリコーダー・バスリコーダーのそれぞれ特徴が出る選曲はピアノとのアンサンブルが素晴らしく感動しました。

リコーダーは音楽の授業でよく使う楽器なので頑張っ練習します。

東日本大震災復興支援曲の“花は咲く”は毎回違う楽器で聴くことができ、いつも心に残ります」



御領原恵子さん 由貴さん

～お昼のひとときにさわやかな音楽を～

県庁ロビーコンサート

5月24日(金) 鹿児島県庁舎2階県民ホール

演奏は(公財)鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録アーティストの山下美喜子さん(ホルン)と竹下智子さん(ピアノ)のお二人で、W.A.モーツァルト作曲の“ホルン協奏曲第1番二長調KV.412より第1楽章”や“ハナミズキ”、“浜辺の歌”など7曲が演奏され、会場を訪れた多くのお客様はお昼のひと時を心地よい音楽で過ごされました。



鹿児島県庁舎2階 県民ホール



山下美喜子さん(ホルン) 竹下智子さん(ピアノ)

○お客様に感想をお聞きしました

・山田和子さん 鹿児島市
「ホルンという楽器は知っていましたが演奏を聴いたのは初めてでした。お昼時にふさわしい柔らかい音でとても癒されました。楽器の紹介があり昔のものとの違い、今のホルンはいろいろな音が出せるようになったとのこと。知っている曲でも演奏する楽器によって違った曲になるんですね。45分があっという間に過ぎたコンサートでした。これからもあればまた来たいと思います」と話して下さいました。

ワークショップ

♪子どもミュージカル講座♪

6月29日(土)・30日(日)
宝山ホール 第1リハーサル室

- ・1日目は、歌いながら踊る楽しさを体感するのが目的で、3グループに分かれ、芝居の最後に“BELIEVE”の唄が歌えるようなミニミュージカルを自分たちでつくり発表しました。
- ・2日目は、ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」のカーテンコールに出演するためにダンスと歌の練習をしました。通し稽古は全員が納得するまで何度も本番と同じようにしました。



ダンスレッスン



歌のレッスン

○受講者に感想をお聞きしました

・岩下華奈(はるな)さん(小5)
「イツフォーリーズの3人の先生は分かりやすく指導して下さい、歌とダンスはとても楽しくできました」



岩下華奈さん

・富永真央(まなか)さん(小6)
「3グループに分かれてミニミュージカルを創作したのは楽しかった。ダンスを分かりやすく指導して下さいだったので覚えやすかった」

・フォース・エリンさん(小6)
「レッスンの合間に気分転換のために、色々なゲームをしたり、不安なことを質問してもやさしく答えていただき楽しくできました」



富永真央さん フォース・エリンさん

●講師は、作曲家いずみたくさんが創立したミュージカル劇団の“イツフォーリーズ”と“特定非営利活動法人 かごしま子ども芸術センター”。

・かごしま子ども芸術センターのスタッフ



豊島真希さん・重山茂仁さん・星原剛さん・入本敏也さん
・ミュージカルカンパニー“イツフォーリーズ”



吉田雄さん・五十嵐暁子さん・鈴木彩子さん



公演の一場面



カーテンコールに出演した「子どもミュージカル講座」の受講生

○お客様に感想をお聞きしました

・富永真喜子さん 鹿児島市

「公演は臨場感があり、歌・ダンス共に楽しませていただきました。友情の大切さもあたたかく心に残り感動しました。娘は初めてのミュージカル講座でしたが家で生き生きと練習している姿を見て本当に参加させてよかったと思いました。」

・フォーブス・志保さん 鹿児島市

「友情がテーマの公演はとても感動しました。娘は歌もダンスも未経験でしたが、カーテンコールの舞台では生き生きと楽しんでいるのが伝わってきました。講座に参加して素晴らしい経験をさせていただきました。」



フォーブス・志保さん

イツフォーリーズ公演 親と子どものミュージカル ルドルフと イッパイアッテナ

7月7日(日) 宝山ホール

原作は第27回講談社児童文学新人賞受賞作品で、NHK教育テレビ「テレビ絵本」でも取り上げられるなど、子ども達に大人気の物語で、いずみたく最後の企画作品として1993年に初演。その後ロングランを重ね絶賛されている作品です。

内容はゆかいなネコたちの知恵と勇気と友情の物語で、鹿児島の子供たちに感動を与えました。

《今回の取材担当》

取材記事 広報ボランティア 弓削真知子・中園文夫
撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行

宝山ホール広報ボランティア 『語りもんそ』編集部
〒892-0816 鹿児島市山下町5-3 宝山ホール
電話 (099)223-4221 FAX (099)223-2503